



(報道関係各位)

令和5年9月28日 発表

【本件に関するお問い合わせ】

☑ HP 公開

川越市役所 地域包括ケア推進課 地域包括担当 担当者：三ツ目

☎049-224-6087 (直通) Fax : 049-229-4382 メール : hokatsucare★city.kawagoe.lg.jp

※@を★に置き換えています

第11回医療介護フォーラム

「最期まで自分らしい人生を送るために」

日時：令和5年10月29日(日) 13時00分～16時00分 (開場 12時)

会場：ウエスタ川越 大ホール

定員：850人 (申し込み不要)

参加費：無料

共催：コミュニティケアネットワークかわごえ、川越市

事業概要

医療・介護連携を深めるため、医療や介護等の27団体で構成されたコミュニティケアネットワークかわごえ(事務局：川越市医師会)と市が共催により開催する、市民向けのフォーラムです。

テーマは「最期まで自分らしい人生を送るために」です。

元NHK出版編集局長・大治浩之輔おおはるこうのすけさんと川越市医師会会長・齊藤正身さいとうまさみさんによる対談や、市民、医療・介護の専門職によるパネルディスカッション、書籍販売や地域包括支援センターの案内コーナーなどを実施いたします。当日直接会場にお越しください。

主な内容

■対談

テーマ：人生の道しるべ「モリー先生との火曜日」を語る

登壇者：大治浩之輔さん(元NHK出版編集局長)

齊藤正身さん(川越市医師会会長)

■パネルディスカッション

テーマ：認知症になっても自分らしい人生を送るために

登壇者：コーディネーター 岡持利亘おかじとしのぶさん

パネリスト 市民、介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護員



▼チラシ

(表)

第11回 医療介護フォーラム

日時 令和5年 **10/29**日 開場 12:00 13:00~16:00

会場 ウェスタ川越 大ホール (川越市新宿町1-17-17) 公共交通機関、またはお近くの有料駐車場などをご利用ください

参加 参加費無料・申し込み不要
どなたでも参加可能です！直接会場にお越しください
手話通訳を希望する場合には、10月13日(金)までに事務局までお申し出ください

内容
対談
人生の道しるべ「モーリー先生との火曜日」を語る



さいとう ままみ
齊藤 正身 さん

- 川越市医師会 会長
- 川越市介護保険事業計画等審議会 会長
- コミュニティケアネットワークかわごえ 会長
- 厚生労働省社会保険審議会介護保険部会部 海委員 兼任
- かみケアグループ 医療法人共立会・社会福祉法人齊正会 理事長
- 看護・医療・介護・職員のむちへ(1)会 会長



おおはる こうすけ
大治 浩之輔 さん

- 1995年生まれ、恋愛を題材にした小説の作家。成業後の独立志向で育つ。
- 東京大学法学部卒業生、NHKの記者としてロケリポートや水曜日の事件取材。
- NHK放送の編集長時代に「モーリーの世界」『モーリー先生との火曜日』の制作決定、放送を決定。

パネルディスカッション
認知症になっても自分らしい人生を送るために

コーディネーター 岡持 利直さん (コミュニティケアネットワークかわごえ コアメンバー)
パネリスト 市民、介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護員

パンフレットコーナー、総合相談窓口のご案内、書籍販売 (2階ホワイエ)

コミュニティケアネットワークかわごえの賛同事業所による、医療や介護に関するパンフレットの設置や、高齢者のみなさんのご相談をお受けする、お住まいの地域包括支援センターをご案内します。
また、書籍「モーリー先生との火曜日」を販売します。

感染予防 感染症予防のため、手指消毒等にご協力ください

問い合わせ コミュニティケアネットワークかわごえ事務局(川越市仁宅玉塚拠点センター)
電話 049-223-720(平日8時30分~17時30分)

共 催 コミュニティケアネットワークかわごえ・川越市

最期まで自分らしい人生を送るために

(裏)

第11回 医療介護フォーラム 最期まで自分らしい人生を送るために

会場までのアクセス

所在地 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

「本川越駅」よりバスをご利用の場合

- 「本川越駅」西武バス乗り場①番
 - ・新所02、本55系統「川越駅西口」下車 徒歩約5分
 - ・本53、本54系統「ウェスタ川越前」下車すぐ
- 「本川越駅」西武バス乗り場②番
 - ・川越35、川越35-1系統「ウェスタ川越前」下車すぐ



コミュニティケアネットワークかわごえ とは

平成28年1月設立

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、川越市と連携し、地域の医療・介護関係者のネットワークの構築、同職種、多(他)職種間の資質向上を推進するにあたり、医療と介護の連携の在り方やしくみづくりについて協議を行うことを目的としています。

令和5年現在、医療関係の団体や介護関係の団体を中心として、計27団体で構成されています。

